

ほけんだより

2024年4月

ハノイ日本人学校 保健室 P

保護者の皆様、お子様の御入学、御進級おめでとうございます。保健室ではお子様が元気に安心して学校生活を送れるようにサポートしていきます。

保健関係書類の提出についてのお願い

① 感染症の予防接種・既往歴調査票

- ・ 予防接種、感染症の既往歴は昨年度と変わっている場合があります。よく御確認の上、追記や訂正をしてください。
- ・ 内容の御確認が終わりましたら、表紙の確認欄にサインをお願いします。

② 児童生徒保健調査票

- ・ 右下の「5 学校に知らせておきたい事」は、何もない場合も「特になし」に○をつけてください。
- ・ 緊急時の連絡先の記入に間違いがないようにお願いします(変更があった場合は訂正してください)。
- ・ アレルギーの有無や予防接種状況は緊急時に必要な情報となるため記入漏れがないようにお願いします。

③ 結核健康診断問診票

- ・ 該当欄に記入してください。

以上3点を連絡用封筒に入れて担任に御提出ください。

提出締切 4月19日(金)

保健関係について

1 保健室の利用

保健室の利用は原則1時間までです。1時間の休息で改善しない症状や37.5度以上の発熱の場合にはご連絡いたしますので、お迎えをお願いいたします。

学校で飲み薬などを与えることはできませんので御了承ください。また、学校でのけがに関しては養護教諭が応急処置をいたします。継続的な処置は行いませんので、翌日以降も湿布や絆創膏など必要であれば御家庭で御用意ください。

保健室利用時には必要に応じて「保健室利用カード」をお渡しいたします。お子様の保健室での様子や状況を所感として記入しております。けがや体調不良に関して学校で診断をすることはできません。内容を御確認の上、お子様の様子を見ていただき、病院受診の要否を判断する目安にしていいただければと思います。

2 バス酔い

体調に左右され、いつもは乗り物酔いをしないお子様でも嘔吐してしまうこともあります。お子様がすぐ取り出せる場所にビニール袋を入れていただくようお願いいたします。なお、嘔吐物や排泄物で衣類が汚れてしまった場合、袋に入れてそのままお返しいたします。衛生上の観点から学校では洗濯をすることができませんので、御了承ください。

3 海外学校傷害保険

本校では、全児童生徒が海外学校傷害保険に加入しています。学校管理下で起きたけがで医療機関を受診した場合には、受診料の一部が支払われます。受診後は速やかに学校に御報告ください。ただし支給金額は少額で一定ですので、御家庭の保険をまずご使用ください。また、申請には領収書並びに診断書(原則請求額が10万円以下なら不要)が必要となりますので御承知おきください。

5 新型コロナウイルス感染症並びにその他の感染症

学校は集団生活の場であり、児童は特に重症化するリスクもあるため、感染症には特に注意が必要です。37.5℃以上の発熱がある場合は自宅療養していただきますよう御理解と御協力の程よろしくようお願いいたします。

また、病院で何らかの感染症と診断された場合、一定期間登校が認められない場合があります。速やかに学校まで御連絡ください。医療機関にて診断書や登校許可書が出された場合には、そちらを持参して登校復帰をしていただければと思います。

	疾患名	潜伏期間	症状	出席停止期間
第1種	エボラ出血熱、クリミアコンゴ出血熱、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、SARS、痘そう、ペスト、鳥インフルエンザ			原則入院をし、完全に治癒するまで出席停止
	インフルエンザ	1-2日	発熱、倦怠感、関節痛、筋肉痛、咽頭痛、咳	発症後5日、解熱後2日を経過するまで(早見表あり)
	百日咳 麻疹(はしか)	6-15日 10-12日	発作性の咳込みを反復 2-3日の風邪症状、その後高熱、発疹	特有の咳が消失もしくは5日間の抗菌剤による治療終了まで 解熱後3日を経過するまで
第2種	流行性耳下腺炎(おたふく)	2-3週間	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹、発熱	耳下腺、舌下腺、顎下腺の腫脹が出て5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで
	風疹	2-3週間	発熱、発疹、リンパ節腫脹	発疹が消失するまで
	水痘(水疱瘡)	11-20日	腹部、背中から全身発疹	すべての発疹が痂皮化するまで
	咽頭結膜熱(プール熱)	5-7日	発熱、咽頭痛、眼球充血	主要症状の消退後2日を経過するまで
	結核 髄膜炎菌性髄膜炎	1か月から数年 2-4日	咳、発熱、倦怠感 高熱、吐き気、頸部硬直	感染の恐れがなくなるまで
第3種	新型コロナウイルス感染症	型による	発熱、咳、咽頭痛、鼻水、倦怠感	発症後5日を経過し、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで
	コレラ、細菌性赤痢、腸チフス、パラチフス			医師が感染の恐れがないと認めるまで
	腸管出血性大腸菌感染症	2-14日	水溶性下痢、血便、腹痛、発熱	
	流行性角結膜炎	1-2週間	眼球充血、眼瞼腫脹	
	急性出血性結膜炎	1-2日	流涙、眼球充血、眼瞼腫脹	
その他の感染症	条件によっては出席停止の措置が必要と考えられる疾患			

【御挨拶】

養護教諭の安達友美と申します。学校では様々な取り組みで、お子様が元気に安心して登校できる学校運営に努めています。保健室でも応急処置だけではなく、健康相談活動や保健指導を通してお子様と関わり、心身の健康のサポートをしております。その中で保護者の皆様に御協力をお願いする場面も多々あると思います。1年間、何卒よろしくお願い申し上げます。